

# 赤嶺公民館建設設計コンペ



team DREAM

## 設計コンセプト

私たちは、この新しい公民館の建物の中に、かつての赤嶺の集落のどこにでもあった『懐しい沖縄空間』の再現を試みる。

しかし、赤瓦・木造・石垣・防風林等の伝統的な建築資材や要素でもって建物を造れば、高価でありすぎ、若い人々にとって使いづらく、そして、維持管理が面倒である。私たちはコンクリートとガラス等の現代の建築資材を使い、最大限に建築コストを落とし、耐久性があり、しかも『懐かしさと親しみを感じる建築空間をもつ公民館』を提案する。

かつての懐かしい沖縄空間とは、「屋根の内側の天井空間」であり、「半戸外の雨端空間」であり、「防風林と石垣で囲まれた中庭（ナー）空間」である。そして、この空間にいつも多くの人々が集まり楽しい時間を過ごした。

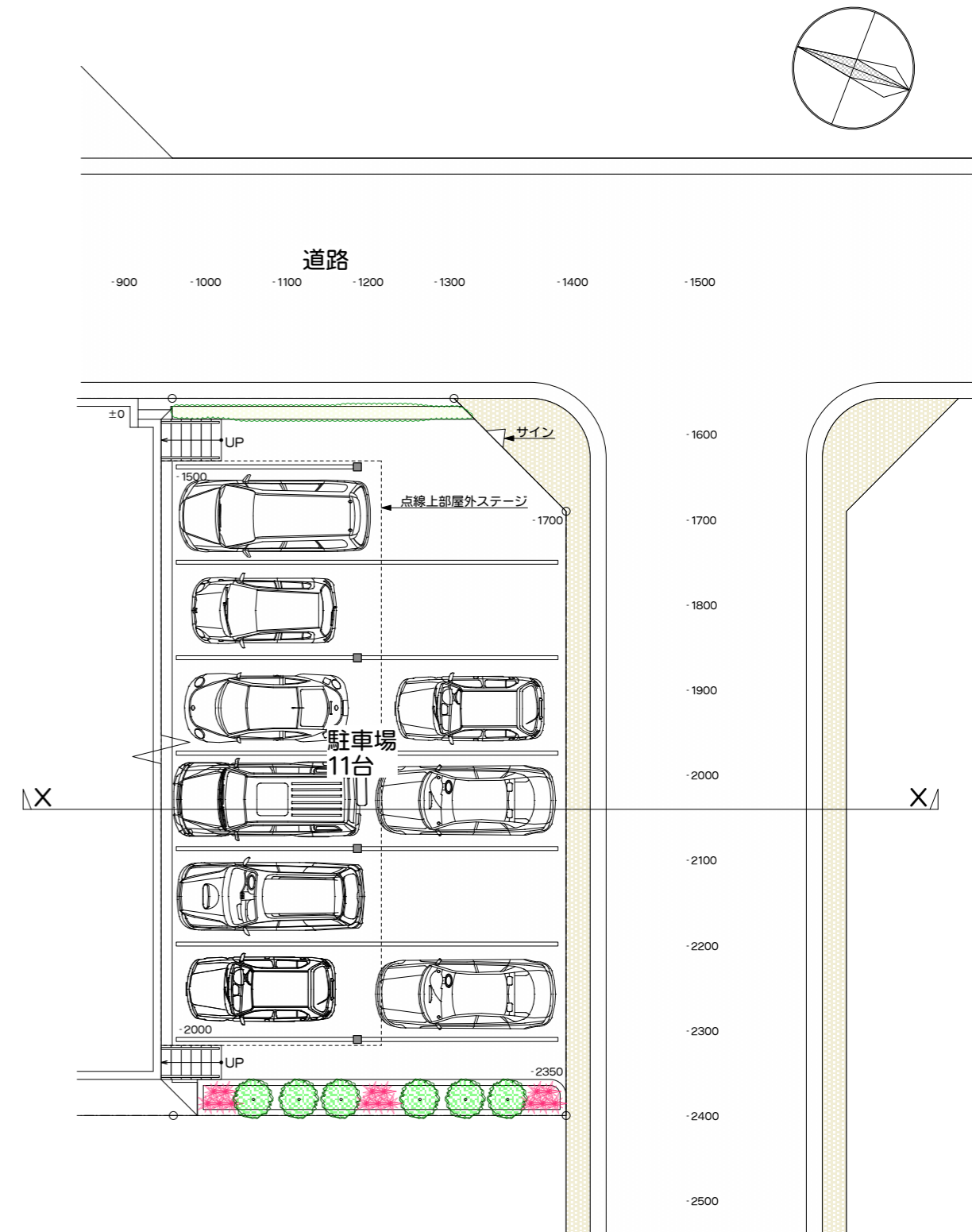
新しい公民館には「高い方形天井をもつホール空間」と「半戸外のパティオ空間」があり、「植栽と野外ステージ（将来計画）に囲まれた庭空間」がある。そして外観はふたつの懐かしい方形の勾配屋根がかかっている。

この新しい公民館を訪れ、空間体験すれば誰もがきっと『昔の赤嶺への懐かしさと親しみ』を感じるはずだ。そして、いつもこの公民館に多くの人が集まるにちがいない。

## ・駐車場

現況敷地の高低差を利用し屋外駐車場(11台)を設ける。

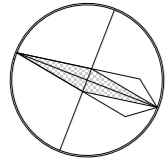
。将来計画としてその駐車場の半分にデッキを設け、庭と連続する屋外ステージを設ける。



・シンプルな平面構成

・6つの小部屋で支えるふたつの大屋根の下にホールとパティオがある。  
 ・室内のホール・半戸外のパティオ・外部の中庭そして屋外ステージ（将来計画）は一体的に連続する。

・多くの住民の集まりの場となり、催しの場となる。  
 ・シンプルな構造と6つの小部屋が支える大屋根のシンプルな構造は耐震性があり強い。構造がシンプルのためコストダウンできる。



・半戸外空間のパティオ

パティオは蔭の空間で、風が通り抜け、雨をさえぎる心地よい空間となる。外部のホールの活用を補完する親しみある場となる。



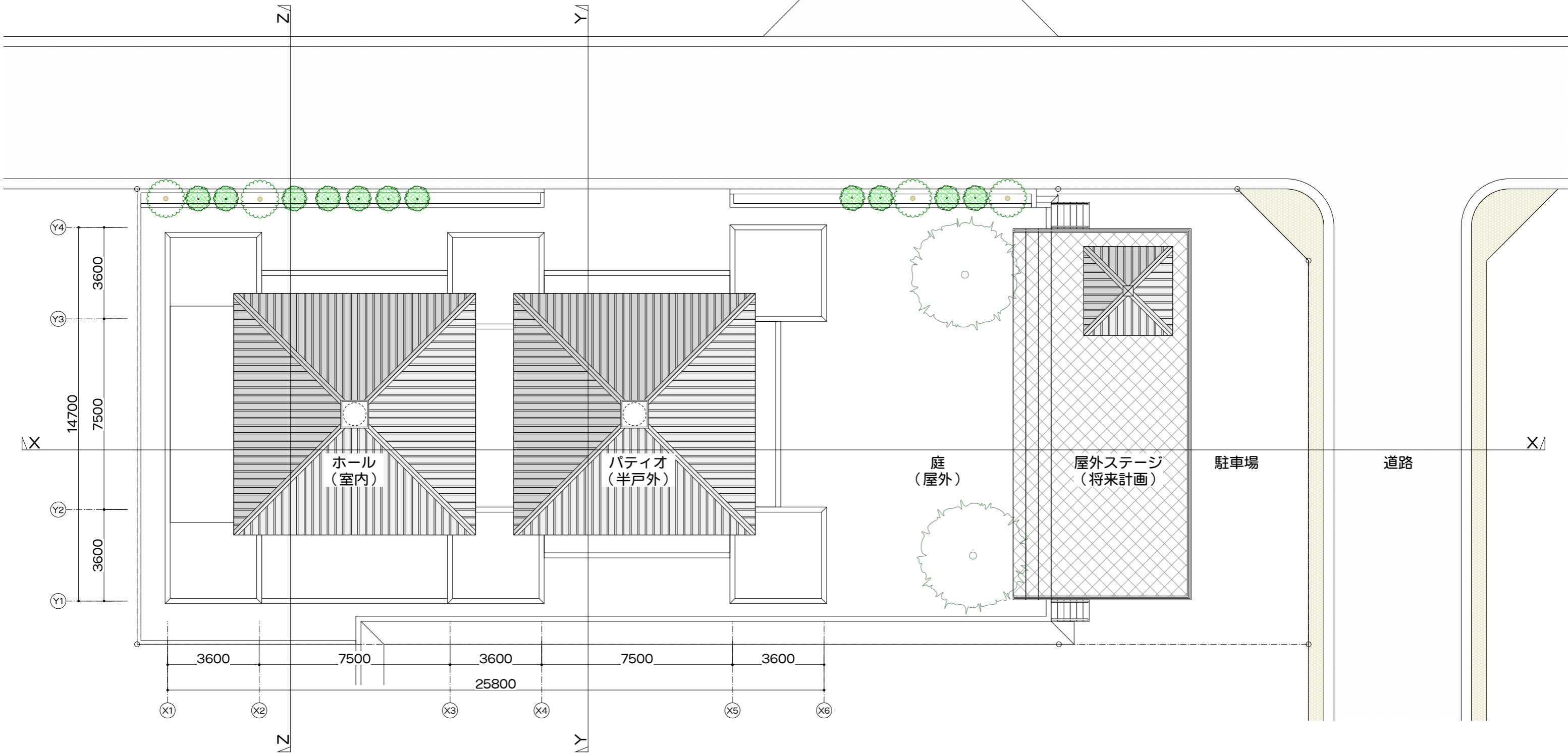
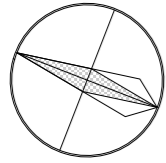


・単純明快な配置計画

室内・半戸外・戸外の庭・駐車場の異なる空間を直線上に並べた明快な連続配置計画。しかも直方体・四角錐など、シンプルな形からなる立体構成の明快な建物形態である。だから建物を見る人々に感動を与える。

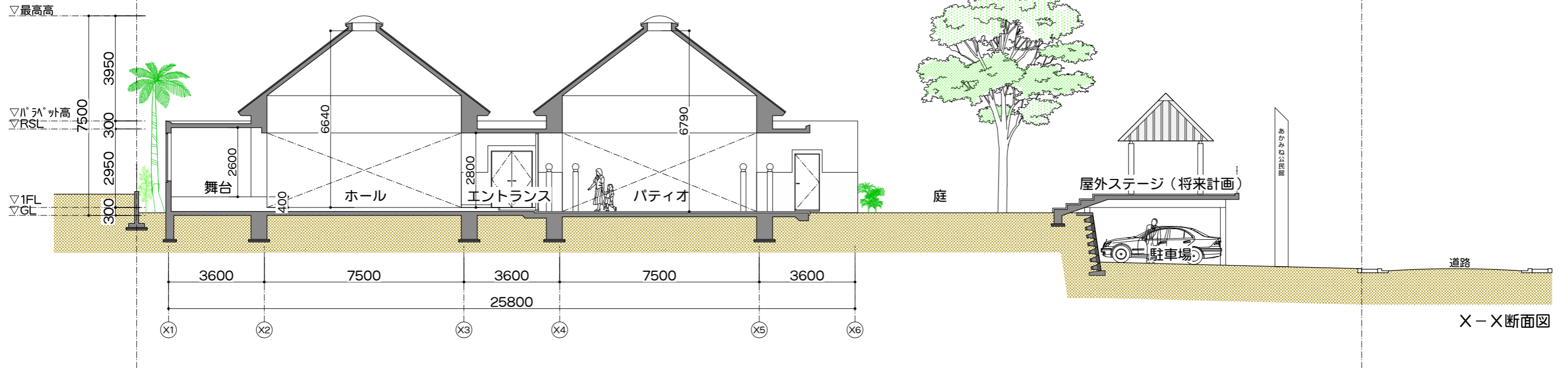
・雨水利用

大屋根に降った雨水を利用し庭の散水に利用する。そして余分の水は自然浸透とする。



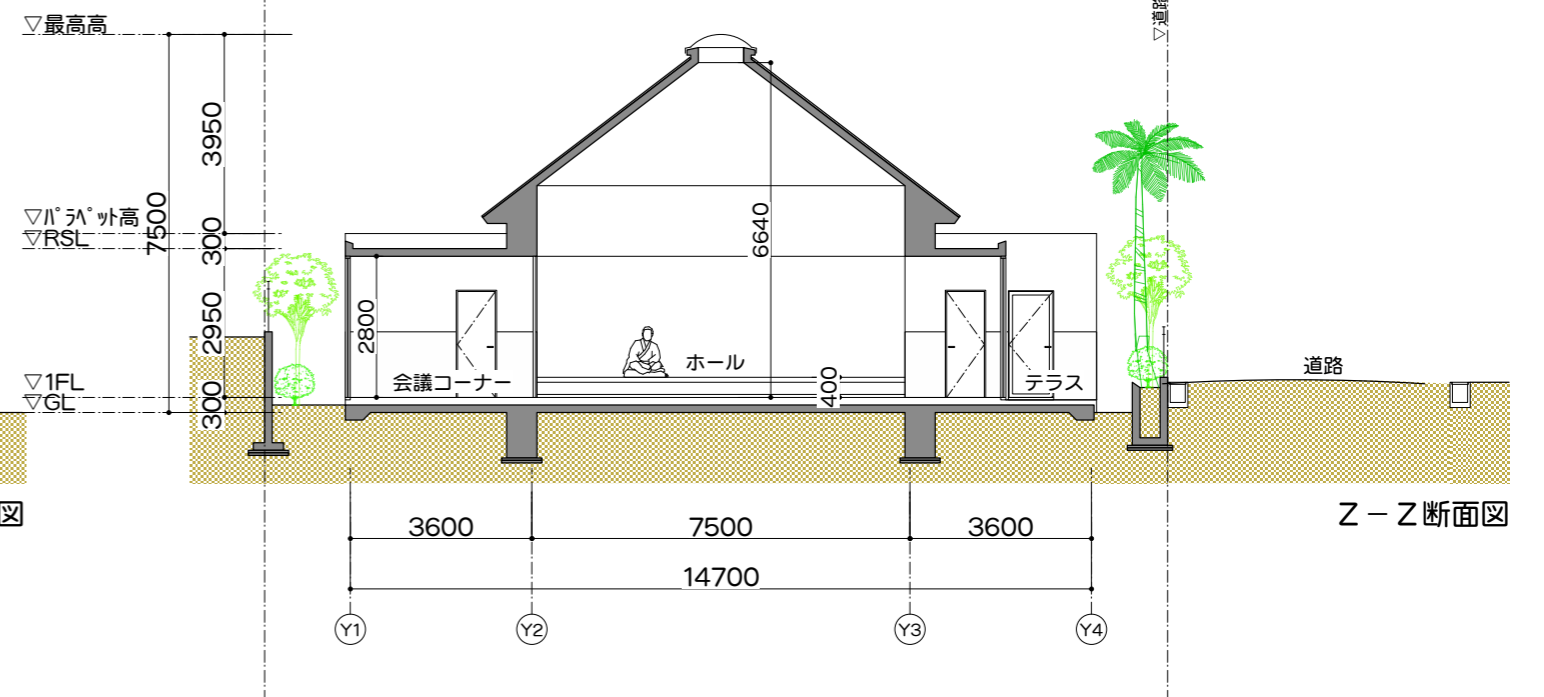
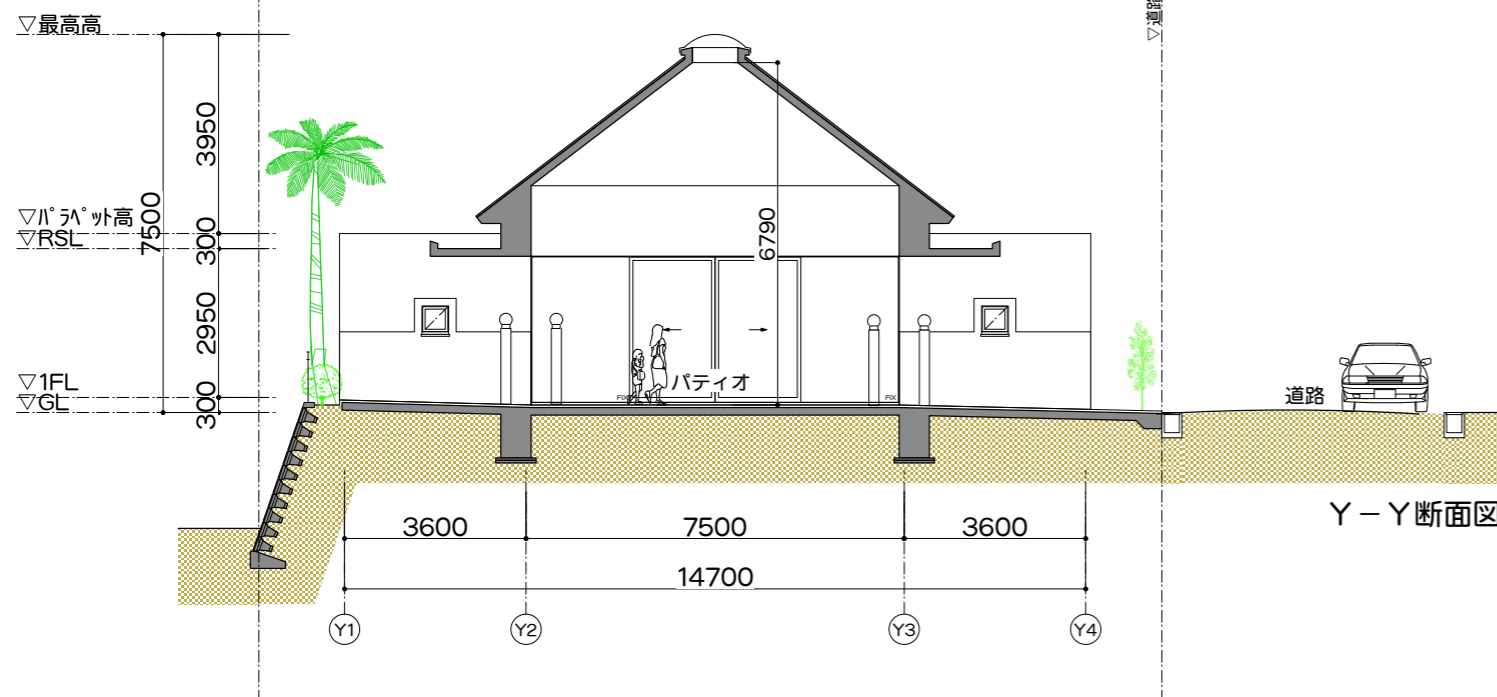
ホールやパティオの最高天井高さは6.6mある。最頂部にトップライトがあり、いつも明るい光がそそぐ。ホール・パティオ・庭・屋外ステージは連続している。

屋外ステージができれば庭は広くなり、駐車場が見えなくなる。



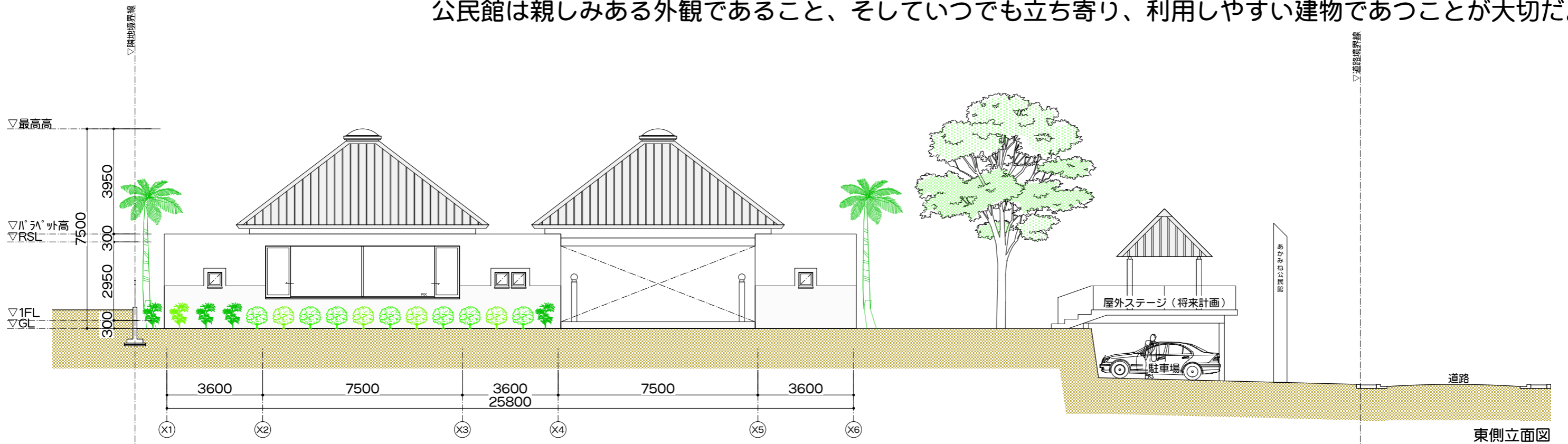
半戸外パティオは木陰の空間同様風の通る心地よい空間で、室内と同様の使い方ができる。パティオの両脇にもふたつの倉庫がある。

ホールは会議室コーナーを含め117m<sup>3</sup>ある。エントランスの両脇には事務所とトイレがあり、ステージの両脇には台所・控え室（倉庫）がある。

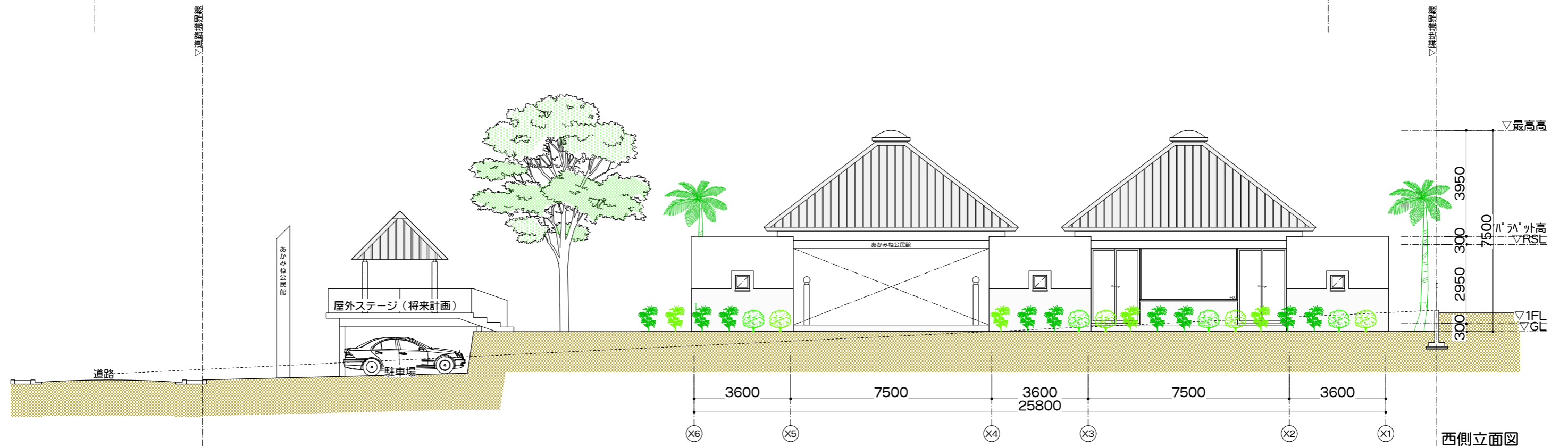


・新しい街並み景観

勾配屋根をもつシンプルな建物の外観と植栽は、味気ない街に親しみある表情を与える。そして駐車場を覆う屋外ステージのデッキと東屋（将来計画）や庭の樹木は街にうるおいを与える。公民館は親しみある外観であること、そしていつでも立ち寄り、利用しやすい建物であつことが大切だ。



東側立面図



西側立面図